

報道発表資料



令和 6 年 5 月 3 0 日
京 都 市 環 境 政 策 局

〔担当：循環型社会推進部資源循環推進課〕
TEL：075-222-3946

令和 5 年度のごみ量

令和 5 年度のごみの市受入量や処理量等についてお知らせします。

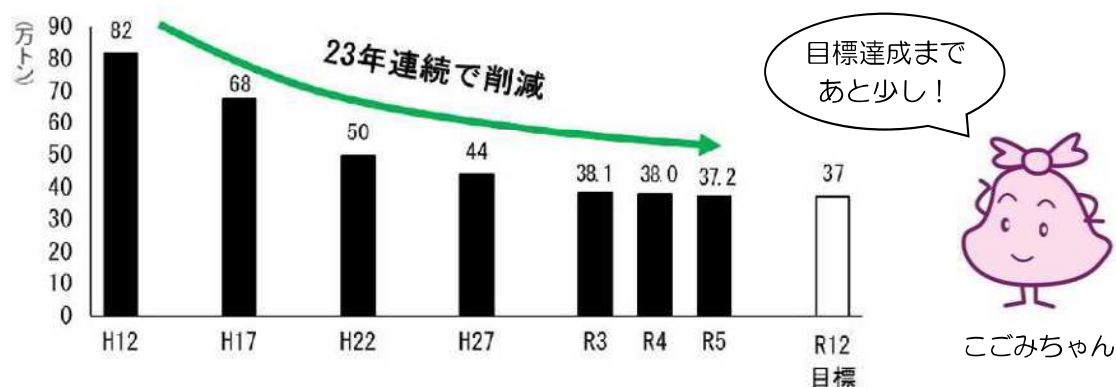
長年にわたる市民・事業者の皆様のご御尽力の結果、市受入量・ごみ焼却量・最終処分量のすべてがピーク時（平成 12 年度）以降、最少となりました。

今後も「京・資源めぐるプラン」に基づき、市民・事業者の皆様とともに、ごみの発生抑制や資源循環を推進し、持続可能な循環型社会の構築を目指していきます。

1 市受入量

令和 5 年度の市受入量は、ピーク時（平成 12 年度、82 万トン）から 23 年連続で減少し、37.2 万トン（対前年度比▲0.8 万トン、▲2.0%）となりました。

令和 5 年度は、社会経済活動の回復によって事業ごみが増加（対前年度比+0.1 万トン）した一方で、家庭ごみが大きく減少（対前年度比▲0.9 万トン）したことで、合計が前年度から減少しました。



	市受入量			増減比較			
	平成 12 年度 (ピーク時)	令和 4 年度	令和 5 年度	対ピーク時比		対前年度比	
				増減量	増減率	増減量	増減率
家庭ごみ	35 万 t	20.3 万 t	19.3 万 t	▲15.1 万 t	▲44%	▲0.9 万 t	▲4.5%
うち、燃やすごみ	32 万 t	17.3 万 t	16.4 万 t	▲15.1 万 t	▲48%	▲0.9 万 t	▲5.1%
うち、資源ごみ	2 万 t	2.5 万 t	2.5 万 t	+0.7 万 t	+43%	+0.0 万 t	+0.0%
事業ごみ	47 万 t	17.7 万 t	17.9 万 t	▲29.2 万 t	▲62%	+0.1 万 t	+0.8%
総合計	82 万 t	38.0 万 t	37.2 万 t	▲44.3 万 t	▲54%	▲0.8 万 t	▲2.0%

（注 1）一部、四捨五入の関係で各値と合計値（増減値）が一致しないことがある。

（注 2）家庭ごみには、燃やすごみ、資源ごみのほか、大型ごみ、街頭ごみ、不法投棄ごみなどがある。

2 プラスチック類の収集量

令和5年4月から、これまでの「プラスチック製容器包装」に新たに「プラスチック製品」を分別対象に加えた、「プラスチック類」収集を開始した結果、プラスチック類の収集量※は、前年度から増加し、1.17万トン（対前年度比+0.08万トン、+7.2%）となりました。

※ 市及び許可業者が収集する量

プラスチックの分別・リサイクルが進んでいます！



3 ごみ処理量

令和5年度のごみ焼却量は33.8万トン、最終処分量は4.5万トンとなりました。市受入量が減少したこと及び分別・リサイクルを進めたことによって、それぞれ前年度から減少しました。

	実績値			増減比較			
	平成12年度 (ピーク時)	令和4年度	令和5年度	対ピーク時比		対前年度比	
				増減量	増減率	増減量	増減率
ごみ焼却量	76万t	34.3万t	33.8万t	▲42.7万t	▲56%	▲0.6万t	▲1.6%
最終処分量	16.5万t	4.6万t	4.5万t	▲12.0万t	▲73%	▲0.2万t	▲3.7%

(注) 一部、四捨五入の関係で各値と合計値（増減値）が一致しないことがある。

＜京・資源めぐるプランにおける関連指標の推移と目標＞

目標指標		令和元年度 (基準年)	令和5年度	令和12年度 (目標年)
市受入量	市の処理施設で受け入れるごみの量 2R等の取組の効果指標	40.9万t	37.2万t	37万t
ごみ焼却量	市のクリーンセンターで焼却するごみの量 2R及びリサイクルの取組の効果指標	38.2万t	33.8万t	33万t
最終処分量	市が最終処分(埋め立て)するごみの量	5.1万t	4.5万t	4.4万t

(参考) 令和4年度の人1日当たりのごみ量

環境省調査※¹では、令和4年度の人1日当たりのごみ量※²は757g/人日となり、政令指定都市で、3年連続で最少となりました。

※1 環境省一般廃棄物処理実態調査（令和6年3月公表）

※2 市受入量(家庭ごみ、事業ごみ)のほか、集団回収量を合算した量



ごみ処理コストの大幅な削減も実現！

⇒ 対ピーク時比▲12.8億円/年（平成14年度 36.7億円→令和4年度 23.9億円）

＜主な内容（令和4年度時点）＞

- ・ クリーンセンター（清掃工場） 5か所 ⇒ 3か所
- ・ 家庭ごみの収集車両稼働台数 258台/日 ⇒ 187台/日